

代表世話人から

代表世話人 江頭 清昌

7月9日の設立総会で代表世話人としてご承認をいただきました江頭清昌です。従来の「東京エリア・昨年の総会で従来の組織の東京エリアマネージャーをお引き受けする際に、1年限りのつもりで責を果たす所存です、と申し上げて東京のまとめ役をつとめてまいりました。この1年間で後継者となってくれる人物を探し出して後事を託すつもりでございましたが、今回凶らずも新組織の代表世話人をお引き受けすることになりました。私といたしましては後継者の出現を期待しておりましたし、事実東京エリアの活動を中心となって推進して下さった方もいらっしゃいますが、各自が仕事を持ちながらの平成維新の活動ということもあり、お引き受けいただくに至りませんでした。多士済々の東京にあつて後任の発掘と育成に成果を挙げられなかったことを会員の皆様にお詫びいたします

さて、次に新組織である「平成維新を実現する都民の会」に関して一言申し上げます。私は平成維新の運動に加わって3年になります。この間に平成維新の運動としての3回の節目を経験してきました。最初は平成維新の会の立ち上げの時期、次が会則と道州準則が定められて東京エリアとしての活動が始まった時、そして今回の「平成維新を実現する都民の会」の発足です。私はそれぞれの場に立ち会いまして、平成維新の活動が着実に前進していることを感じます。今回会報をお送りする皆様の中には、新組織の発足に関する情報も十分にご連絡が届いていない方もいらっしゃるでしょうし、したがって新規の組織への入会手続き

を済ませていらっしやらない方も多いと存じます。しかし生活者主権の社会が実現してほしいという我々の願いは変わりません。今後とも当会にご参加くださるようお願いいたします。

大前先生は、当初「政策提言型市民運動」という形で改革を実現しようとなさいました。その後の総選挙に際しては候補者の推薦という形で超党派の議員を結集しようとなさいました。しかし、これらの手法だけでは日本の政治を変えることができないという判断のもとに、今年に入ってから都知事選挙と参議院選挙には自らが出馬するという決断につながったものと思います。昨年9月の東京エリア総会で頂戴したスピーチでも「平成維新に専念する実行部隊」が必要だというお考えを述べておられましたが、これを一步進めて自らが政治の場に踏み込む決心をなさったことでもあります。大前先生は3年間の試行錯誤の結果、新たな一步を踏み出したといえると思います。今後も苦労は尽きないでしょうが決断と実行力に敬意を表したいと思います。

そして、我々会員も従来のありかたを見直して、市民として何ができるかを改めて考えなおすべき時期ではないかと思ひます。従来の平成維新の会は大前先生のまわりに集まった市民の集団でした。今後は我々が自分で考え、自分で活動に参加して、維新の動きを作り出して大前先生を盛りたてていくことを考えるべきではないかと思ひます。そのような活動にご賛同いただける方々の積極的なご参加をお願いいたしまして私からのご挨拶と致します。

川文昭(20口・幹事)・治田桂四郎(2口・幹事)・望月忠雄(2口・会計)・山本明夫(2口・幹事)
(括弧内は、会費口数・役職)

平成維新を実現する都民の会協賛会規約

(名称・目的)

第1条 本会の名称を、平成維新を実現する都民の会協賛会(以下本会と言う)とする。

第2条 本会は、平成維新を実現する都民の会(以下都民の会と言う)の活動の趣旨に賛同し、財政的支援をすることを目的とする。

(会費・会員)

第3条 年会費は1口5千円とし、会員は1口以上の

「都民の会協賛会」会員募集会長・江頭清昌

さて、この度「平成維新を実現する都民の会」が新発足致しましたが、その立ち上げ資金が極度に不足しております。そこで、本「平成維新を実現する都民の会協賛会」を設立し、資金調達を企画致しました。大変厳しい経済状況の中、甚だ恐縮ですが本会の趣旨ご理解の上、多くの方々のご協力をお願い申し上げます。

「平成維新を実現する都民の会協賛会」発起人名簿

阿部悠逸(10口・幹事)・江頭清昌(20口・会長)・菅井敏之(20口・幹事)・杉原健児(20口・事務局)・長谷